

令和 8 年度全国学力・学習状況調査の結果から読み解く！ 市内の児童・生徒の学力や生活習慣

文部科学省は、小学 6 年生と中学 3 年生を対象とした「全国学力・学習状況調査」を平成 19 年度から実施しています。この調査では、学力を測る「教科に関する調査」と子どもたちの意識や生活習慣などを把握するための「質問紙調査」が行われています。

この特集では、令和 8 年度の結果から分かる市内の児童・生徒の学力や生活習慣などの現状や課題に対する市の取り組みを紹介します。



■調査の概要

調査の結果などは市ホームページでも紹介しています

- 実施日 4 月 23 日（木）※全国一斉。
- 対象学年 ▽小学 6 年生（市内 9 校、259 人）▽中学 3 年生（市内 4 校、279 人）
- 調査内容 ▽教科に関する調査（学力調査）
＝小学校（国語、算数）、中学校（国語、数学、英語）
※英語は 3 年に 1 度実施。
▽質問紙調査＝児童・生徒の学習意欲、生活習慣 など

全国学力・学習状況調査



■教科に関する調査の結果～全国・県との比較～

●小学生（平均正答率）

（単位：パーセント）

科目	年度	相馬市	全国（公立）	福島県（平均）
国語	令和 8 年度	61.0	60.9	59.0
	令和 7 年度	68.0	66.8	65.0
算数	令和 8 年度	56.0	56.4	54.0
	令和 7 年度	59.0	58.0	55.0

ポイント

◎国語も算数も福島県平均を上回りました。

昨年度と比較すると、全国や県と同様、両教科の平均正答率は下がり、全国平均とほぼ同等でした。

●中学生（平均正答率、令和 8 年度の英語は平均 IRT スコア）

（単位：パーセント、令和 8 年度英語のみ IRT スコア）

科目	年度	相馬市	全国（公立）	福島県（平均）
国語	令和 8 年度	61.0	63.9	62.0
	令和 7 年度	53.0	54.3	53.0
数学	令和 8 年度	51.0	57.0	53.0
	令和 7 年度	43.0	48.3	45.0
英語	令和 8 年度（IRT スコア）	449	499	472
	令和 5 年度	41.0	45.6	41.0

ポイント

◎国語も数学も平均正答率が大きく上がりました。

昨年度と比較すると、全国や県と同様、国語と数学の平均正答率が上がりましたが、国語・数学・英語のいずれの教科も全国や県の平均正答率を下回りました。

◎IRT スコアとは、各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し 500 を基準にした得点で表したものです。

■質問紙調査の結果～全国との比較～

小・中学生とも「分からないことや詳しく知りたいことがあった時、自分で学び方や考え方を工夫している」や「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることが出来る」と答えた児童・生徒の割合が全国平均よりも高く、学びに向かう姿勢が身に付いてきています。

また、市内の小・中学校では、教員が子どもたちに寄り添い、親身に指導していることが分かります。

課題としては、「家庭学習の時間」が小・中学校とも全国より少ない状況であり、「SNS 閲覧や動画視聴をしている時間」は全国より多い傾向にあります。

●生活に関すること

項目		相馬市	全国	差
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	小学校	87.9	82.8	+5.1
	中学校	86.7	80.5	+6.2
自分には良いところがあると思う	小学校	85.6	85.6	0
	中学校	87.1	84.0	+3.1
人の役に立つ人間になりたいと思う	小学校	96.2	95.8	+0.4
	中学校	98.0	95.9	+2.1

●家庭学習に関すること

項目		相馬市	全国	差
平日（月～金）の学校の授業以外の1日当たりの勉強時間（塾や家庭教師も含む）が2時間以上の児童生徒	小学校	15.8	21.6	△ 5.8
	中学校	23.1	30.1	△ 7.0
休日1日当たりの勉強時間が2時間以上の児童・生徒	小学校	6.0	13.8	△ 7.8
	中学校	7.5	13.1	△ 5.6
平日1日当たり、スマートフォンなどでSNSや動画視聴している時間が2時間以上の児童生徒	小学校	61.5	57.6	+3.9
	中学校	83.1	74.9	+8.2

●学習に関すること

項目		相馬市	全国	差
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところを、分かるまで教えてくれる	小学校	90.9	87.3	+3.6
	中学校	93.3	85.2	+8.1
分からないことや詳しく知りたいことがあった時、自分で学び方や考え方を工夫している	小学校	80.8	79.4	+1.4
	中学校	84.7	78.2	+6.5
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることが出来る	小学校	85.7	80.8	+4.9
	中学校	81.5	78.0	+3.5
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる	小学校	81.9	79.9	+2.0
	中学校	85.1	80.8	+4.3

■市の取り組み

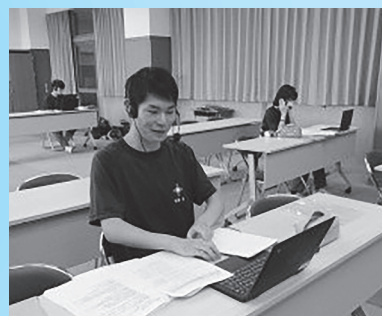
市は、「家庭学習の取り組みや時間の使い方」について、子どもたちの「生の声」を聴くため、昨年度に PTA 代表や学校代表、教育委員会が中学生と意見交換を行いました。その中で、中学生から、全校生や他校生と「どうすれば変わるのか」を話し合いたいという提案があり、今年6月に市内中学校生徒会と協力しながら「家庭生活の見直し」に関するオンライン意見交換会を開催しました。



自己マネジメント力の育成

オンライン意見交換会は、『大人に言われて変える』から『自分たちで変えていく』をテーマに、帰宅後の時間の使い方や家庭学習の仕方、スマートフォンや SNS との付き合い方などについて、主体的に意見交換が行われました。今後は、全校生や保護者を交えるなど各学校で工夫し「自分ごと」として考える機会を計画しています。

さらに、まとめたものを市内の小学校にも広めながら、「SNS の正しい使い方や家庭学習の仕方」を身に付けられるよう、市全体で取り組みを進めていきます。



●問い合わせ先 学校教育課（☎ 37-2185）